

## 平成27年度 学校関係者評価の結果報告書

学校評価の取り組みは3年前より実施してきておりますが、この度の学校関係者評価にご協力いただきました皆様に御礼申し上げます。

教職員にとっての評価の目的は、自身の保育・教育を振り返り、反省したことを次の指導に生かしていくことです。そうした振り返り、反省の材料となるのが、学校関係者の方のご意見であり、評価でもあります。常に、次の保育・教育を見直し、改善を図れるような学校評価となるよう、今後も継続して取り組んでいきたいと思っております。

### I 学校関係者による評価

(回収率:81%)

(A:当てはまる B:やや当てはまる C:あまり当てはまらない D:当てはまらない)

	評価項目	A	B	C	D
1	子どもさんは、楽しく幼稚園に通っている。	58%	38%	4%	0%
2	子どもさんは、友達と仲良く遊んでいる。	68%	24%	8%	0%
3	子どもさんは、園から出された課題を、自分なりの力でやり遂げようとしている。	58%	42%	0%	0%
4	園は、教育方針や園行事などについてわかりやすく伝えている。	52%	44%	4%	0%
5	子ども一人一人が大切にされ、認められる園になっている。	44%	48%	8%	0%
6	園は、保護者の方の協力や場を生かした保育・教育を行っている。	54%	46%	0%	0%
7	園は、園内の清掃や整理整頓に努め、子ども達が気持ちよく園生活が送れるよう心掛けている。	72%	28%	0%	0%
8	園は、子ども達の安全に配慮した運営を行っている。	64%	32%	4%	0%

### 【考察】

Iの「学校関係者の評価」について、いずれの項目もA評価・B評価の合計が合わせて92～100%であったことから、一定の評価を受けていると考え、更にA評価の割合が高まるように努力してまいります。一方で、「楽しく幼稚園に通っている」、「友達と仲良く遊んでいる」、「教育方針や園行事などについてわかりやすく伝えている」、「子ども一人一人が大切にされ認められる園になっている」「子ども達の安全に配慮した運営を行っている」の評価項目において、C評価が4～8%であったことに対しては、しっかりと受け止めて対処していく必要があると考えています。

## Ⅱ 別添の「平成27年度 教職員の自己評価集計結果とその考察」についての学校関係者の主な感想・意見等

- ・小さな子供達が保育園になじめるか心配でしたが、先生方のあたたかいご指導のお陰でスクスクと元気に育っていく様子を見るにつけ感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・全体的にB評価が一番多く、A評価とB評価の割合が半々となるくらいまで更なる努力をして頂けたらと思います。
- ・全ての項目において自己評価が低めだなと感じました。先生方はとても一生懸命やっけて頂いていると思います。もっと高評価でも良いと思います。
- ・藤幼稚園の方針や先生方の園児への接し方を見て、我が子をお任せできると思い、この幼稚園に決めました。しかし、先生も人間ですから完璧にできるとは思っておりませんので、いろいろあってもお任せしていますので大丈夫です。ただ、怪我をしたりすることはいけませんので、それはしっかりと見て欲しいと思います。寄り添いながら保育をして頂いていると思うので、とてもありがたいと思っています。
- ・幼児一人一人に目を向け大変だと思いますし、先生方の意識はもちろん職場環境が変わるとまた違って来るのだろうなとは思いますが・・・日々頑張っておられる先生方には頭が下がります。子供達一人一人を見てくれているんだなと感じているので、これからも元気いっぱい頑張ってもらいたいです。感謝しています。
- ・「保育の計画性」、「保育のあり方、幼児への対応について」、「保護者への対応について」で、A評価・B評価を合わせて70～100%になっているのでいいと思います。しかし、C評価でなくD評価と回答している先生がいることに驚きました。D評価の出来ていないと感じているのなら、少しでもA評価に近づけるよう努力すべきだと思います。
- ・教職員の方々が自己評価をし、今後の課題について改めて検討して頂くことで、藤認定こども園がより良くなって行きます。今回評価の低かった項目については、全職員が協力して改善して頂けるようお願い致します。
- ・他のクラスの先生方も子供のことをよく見て下さるので安心です。
- ・平成27年度から園にも若い先生が沢山入って見えました。こうした方々がこれからの幼稚園を支えていく貴重な人材となりますので、園としての人材育成方針を明確化し、当該方針に沿った人材育成プログラムをしっかりと構築されることを望みます。人は国の礎です。研修と研究などにも、もっと時間を割いてしっかりとお取り組みいただきたいと思っています。
- ・いつも先生方にはお世話になり感謝しております。ありがとうございます。
- ・幼児への指導については、個々に合わせた適切な対応をして頂いているのが分かります。細かい配慮等、本当に行き届いているので安心しています。
- ・1年間で3人の担任の先生でした。その時期によって、「今の担任の先生は〇〇先生と」と答える子供。一人一人、とても素敵な先生でした。いろんな訳あつてのことだと思います。「年長さんの時は、〇〇先生やったー！」と言えたなら、最後の園生活だったので

少し残念でした。

- ・子供達の保育現場に関わる重大な問題だと思いますので、保育者同士の協力、連携、相談のできる体制作りの改善には期待したいと思います。
- ・個人的には、あらゆる面で先生方にとっても良くしていただいていると思っています。C・D評価は過小評価では？と思える部分もある一方で、今年度は新しく着任された先生が多く、経験の少なさからくる不安のあらわれでは、とも思いました。
- ・先生方の自己評価が高いのも、自信を持って教育して頂いている結果だと思います。評価の高い意識を持ってみえるほうが安心して園に通わず事が出来ます。
- ・B評価が基本的に多く謙虚に評価されているようにも見えるが、もっと自信を持ってA評価を付けて欲しかった気がする。C・D評価は、20~30%が多く、きっと同じ人が全体的にC・D評価を付けている気がした。専門的な教育者のあり方はよくわからないが、親としては子供とどう接し、C・D評価を付けた人がどういう姿勢で仕事に取り組んだかを教えて欲しかった。結果も大切だが、今年は新卒の先生もたくさんいる中で、A~D評価だけで判断するのは難しいと感じた。
- ・全体を通して、C・Dと評価の低い項目が少数ですがあるようで、今後の指導とスキルアップを期待したいです。一方で、子供たちとの関わりについては、大切に考えてくださっているようで、とても嬉しく感じました。
- ・先生方お一人お一人が、ご自分を評価される事により自己覚知につながる良い取り組みだと思います。一人一人の子供達、保護者など沢山の“人”と関わって頂いている大変なお仕事だと思っています。“人”と関わっていく上でも自己覚知はとても大切な事だと思いますので、今後もこの評価が生かされ、子供達を取り巻く環境がより充実したものになればと願います。
- ・認定こども園としての初年度は、様々なご苦労があり、たいへんな一年であったのではないかと拝察いたします。勤務体系の異なる職種の方も含めて、職員が増えるということは園の経営方針等の共通理解を図ることが一層重要になってくると思います。「小学校との連携」が課題になっている点は、小学校の側もしっかり認識して取り組めるようにしたいと思います。
- ・最も大切にして頂きたい“幼児理解”、特によく話を聞く、共感する、スキンシップをとる、という面において全教職員の方が努力していることが窺え、素晴らしい園だと思わせて頂いた。他の面でも努力されているが、何より子ども達を理解することを重視して頂く園であって欲しいです。又、今後は地域、自然、社会との関わりから子ども達が育っていくようなそんな取り組みをして頂きたいと期待しております。いずれにしても、教職員の方々全体の努力が窺える結果だったと思います。

### Ⅲ その他、本園の教育についての学校関係者の主な意見等

- ・こども園になり先生方の人数は増えましたが、以前より増して担任の先生の負担が多

くなっているように感じます。幼児期の子ども一人一人の個性をよく見て頂き、丁寧に対応して欲しいと思います。副担任をつけて頂くなど細かな対応をお願いします。

- ・「授業参観」というスタイルではなく、日常のお友達と遊んでいる様子や給食の様子も見てみたい。
- ・楽しい行事やいろいろな催しの準備や練習は大変だと思いますが、心待ちにしております。
- ・年少は補助の先生が付かないと伺っていますが、少し不安です。せめて、1学期だけでも補助の先生が付いて頂けたらと思います。
- ・近年、教職員の入れ替わりが激しく、子ども達にとって落ち着かず良くないことだと思っています。特に本年度は、2回も担任が替わっており、園側にも大きな責任を感じます。先生を園児の前で叱責したり、他の先生が冷たく接している姿は保護者が見ても分かる程でした。こういった状態が起こらないよう、担任を決める際には適性を見極めていただきたいと思いました。
- ・いろいろな面で、もう少し自由でもいいかなと思います。
- ・園が終わってから園庭で遊ぶのは、子供達が他のクラスのお友達と遊ぶ楽しみ、関わりでもありますし、親同士も顔見知りになれるチャンスでもあるので、是非復活させて欲しいと思います。
- ・どの先生も一生懸命、教育してくれているので感謝しています。
- ・重々ご承知のこととは思いますが、認定こども園になったことで試行錯誤されているこの一年も、園児にとっては大きな一年です。例えば、保育園児に配慮するあまり今までの藤幼稚園の良さが薄れてしまったり、担任の先生によって園生活の楽しさや充実度合が大きく変わったりすることのない様にと願っております。
- ・お誕生会後のお給食を一緒に食べる事で子供のクラスのお友達をよく知る事が出来ていました。最近はお誕生会のみでの参加で残念です。年長組だけでも、お給食に参加させていただけたらと思います。
- ・お迎えに行くと、対応して頂く先生によっては、一切子供の様子を伝えて頂けない事が多々あります。色々な先生が沢山の子ども達に関わって頂いており大変だと思いますが、せめて一声でも様子を伝えて頂けると嬉しく思います。
- ・生活発表会のDVD購入のように、運動会のDVDの購入があれば嬉しく思います。
- ・園はしっかり子供の事を考えてもらっているように思います。安心して預けられます。
- ・厳しさの中にも先生方の熱意がしっかり子供たちに伝わっているので、どんなに怒られても、子供たちはいつも先生のことが大好きで何事にも一生懸命になれるのだと思います。子供が精一杯頑張り成長する姿が見られるのは、親としてとっても嬉しいことです。
- ・他の幼稚園にてバス事故の話を聞きました。藤幼稚園のバスドライバーさんは、いつも安全第一で運転してくださっていますが、万一のことを考え可能であれば、幼稚園

バスにシートベルトを付けていただけたらと思います。

- お若い先生方も多いですが、みなさん本当に子供達一人一人と向き合い、じっくり接して頂いているんだなと日々思い感謝しています。ありがとうございます。自分の子供ながら親が見えていなかった所を先生に教えていただく事も多いですが、そうした先生と保護者との情報の共有はとても大切です。(延長保育でお世話になっていると特に思います) 機会があれば、色々と園での様子などを知りたいと思います。
- 地域の方々が園に関わり、園児を支援するような取り組みも今後考えて頂けたらと願っております。子ども達の笑顔があふれる園であって頂きたいと思います。